

※「概念的知識の獲得」とは・・・昨年度の6学年部会での解釈

・社会的事象の特色や意味などを説明するための知識であり、具体的な事実の理解を積み上げていくことが、概念的知識の獲得といえるのではないか。

4 グループでの話し合い活動（視点①・②について）

（グループからの意見）

・「社会的事象の意味」と「概念的知識」はどう違うのか？

概念的知識は、社会的事象を自分の言葉で説明する力、汎用性につながるものこと？

社会的事象の意味とは、具体的にどういうこと？

事実 → 事実同士のつながり・背景 → 社会的事象 → 他の時代を見た時に、先に得た社会的事象をもとに説明する力が、概念的知識？

・「概念的知識」は、子どもたちの中からどう表れてくるのか？→具体の姿を知りたい

・視点①で「ふり返し」と出てきたが、単元のどこで評価するのか？

・視点②で、6年生の特殊性のある短い単元（歴史学習）で、本気の学習問題が本当にできるのか？（4時間ぐらいしかない短い学習で、本気の学習問題ができるのか？）

・視点②の社会的事象と概念的知識の検証には、授業記録をじっくり読んで、それをもとに考えていかなければ研究にならないのではないか。

→どのような子どもの言葉で語られているのか、じっくりみとることが大切

5 ミニ提案について

今年実践提案が少なく、授業研もできない。そのため、各研究会の始めの15分、ミニ提案をして6つの視点の吟味をしていく。（模擬授業や紙面上での提案を考えている）

6 役割分担について

<本年度の実践提案2本>

1 1月4日（水） 提案者：八木 浩司先生（南吉田） 司会：本間 宏志先生（末吉）

記録：福田 恭祐先生（永田）

1 2月2日（水） 提案者：鈴木 亮 先生（下田） 司会：浦川 裕貴先生（洋光台第四）

記録：山口 暁風先生（小田）

7 アンケートについて

本年度から4段階の数値をつけて、客観的に研究会のふり返しをしていく。

アンケートをもとに会の運営や会員への返しに活用していきたい。

次回の市研

7月31日（水） 県小社特別研修会 教科調査官小倉先生の講演会 南公会堂 人数制限あり

8月 1日（火）の「県小社研 夏季特別研修会及び講演会」はありません。

次回の市研は、9月9日（水）全小社の課題別提案のプレ提案です。

文責 下島 孝志（瀬ヶ崎小学校）